

会社概要

商号	株式会社和井田製作所 (英文社名: WAIDA MFG. CO., LTD.)
所在地	〒506-0824 岐阜県高山市片野町2121番地
設立	1946年10月22日
資本金	8億4,330万円
従業員数	168名(連結)
連結子会社	和井田友嘉精機股份有限公司(台湾)

役員

代表取締役会長兼社長	和井田 光 生
代表取締役副社長	久 保 朝 義
常務取締役	森 下 博 博
取締役	松 村 忠 典
取締役(監査等委員)	田 村 孝 至
取締役(監査等委員)	渡 邊 一 (弁護士)
取締役(監査等委員)	山 下 英 一 (税理士)

(注) 渡邊一氏及び山下英一氏の両名は、社外取締役であります。
両名を独立役員として指定し、東京証券取引所に届け出ております。

株式の状況

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,028,000株(自己株式585,553株を含む)
株主数	3,257名

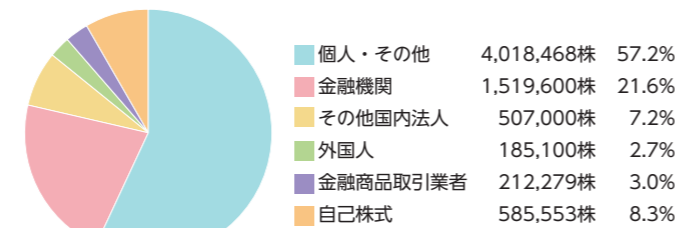
大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
和井田 光生	431,177	6.69
和井田 倅生	430,060	6.67
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	427,700	6.63
株式会社十六銀行	321,300	4.98
株式会社三菱UFJ銀行	321,000	4.98
和井田 叔子	250,000	3.88
和井田製作所従業員持株会	154,600	2.39
和井田 克子	121,200	1.88
和井田 雅生	120,800	1.87
岐阜信用金庫	110,000	1.70

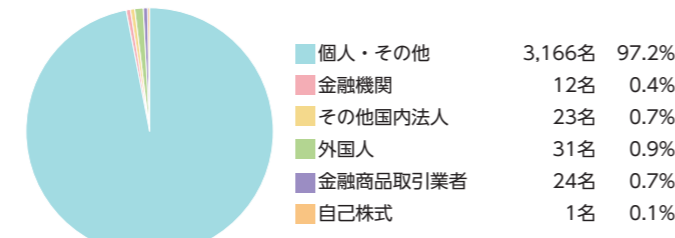
(注) 持株比率については、自己株式(585,553株)を控除して算出しております。

株式分布状況

○株式数構成比



○株主数構成比



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)
公告方法	電子公告 アドレス: https://www.waida.co.jp/ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所	〒460-8685 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
・未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

お問い合わせ先 株式会社 和井田製作所 経営企画部
〒506-0824 岐阜県高山市片野町2121番地
TEL:0577-32-0390 FAX:0577-37-0020 URL <https://www.waida.co.jp/>



紅葉の参道(岐阜県高山市日枝神社)

ごあいさつ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。
第92期上半期(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、前年同期比で大幅な減収減益となりました。
感染症リスク下での経済活動について政府をはじめ様々な試みが行われているものの、本格的な景気回復についてはまだ見通せる状況になく、下半期も厳しい市場環境となることが予想されます。感染症対応にともない企業活動も一定の制約を受けておりますが、その中でも新たな取り組みによる受注確保に努めるとともに、市場回復を見据えた諸施策に積極的に取り組んでおります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長兼社長 和井田 光生

第92期上半期の概況

第92期上半期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、厳しい市場環境にさらされました。

しかしながら、お客様のご協力のもと営業活動や製品の納入検収、アフターサービスなどにおいて想定以上にリモート対応が進んだことから、売上は期初計画を上回る結果となりました。

また、諸経費の抑制やコスト低減に努めたことに加え、リモート対応の進展と国内外での出張制限の長期化により旅費交通費等が低水準で推移していること、さらには一部費用の発生が海外渡航制限の影響により先送り

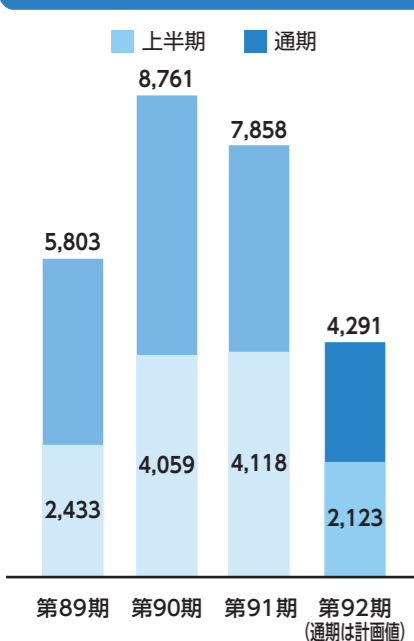
されていることなどから、利益も想定を上回っております。これらの要因により、期初計画の時点で赤字と予想しておりました上半期利益は、黒字を維持することができました。

品目別の売上高構成につきましては、アフターサービスが期初の想定を上回りました他は、概ね想定どおりに推移いたしました。地域別の売上高構成も、国内が半分近くを占めるなどほぼ想定どおりの結果となっております。

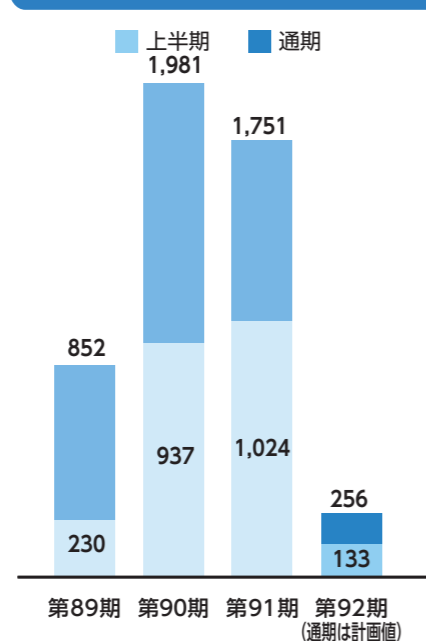
以上の結果、売上高は2,123百万円、経常利益は133百万円、当期純利益は89百万円となりました。

業績ハイライト

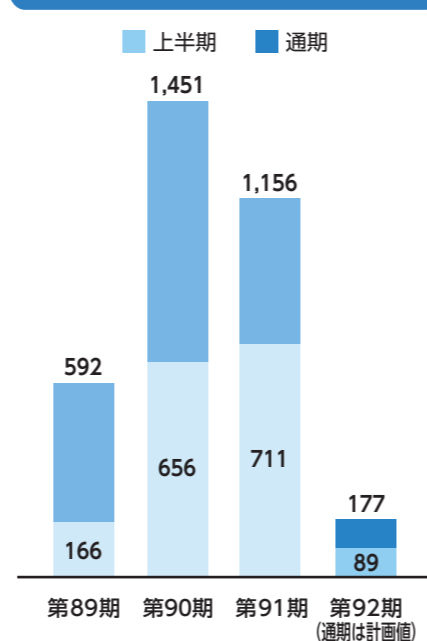
売上高 (単位:百万円)



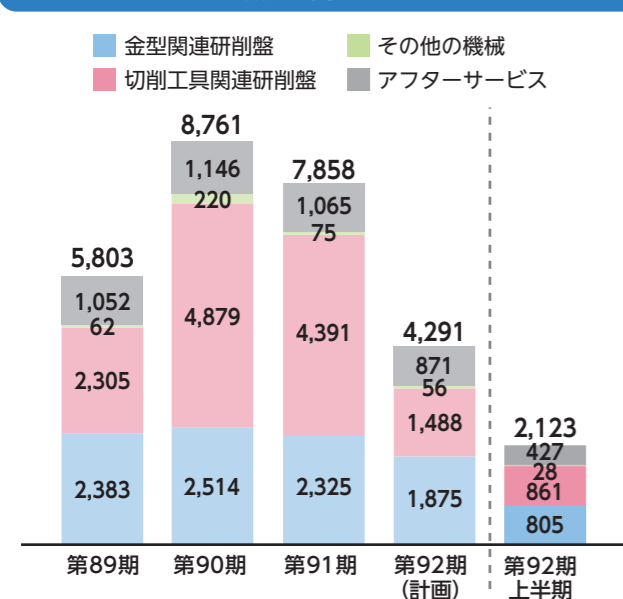
経常利益 (単位:百万円)



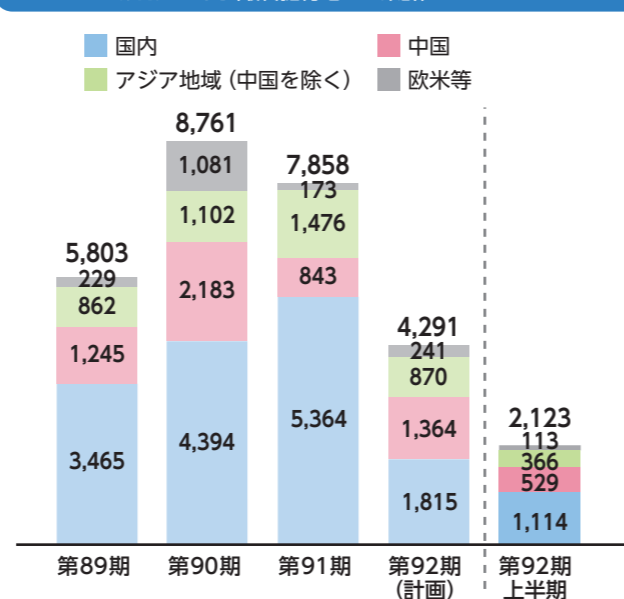
当期純利益 (単位:百万円)



品目別売上高 (単位:百万円)



地域別売上高 (最終据付地にて集計) (単位:百万円)



第92期の見通し

第92期下半期（2020年10月1日から2021年3月31日まで）の市場環境は、新型コロナウイルス感染症のリスクを織り込みつつ、徐々に経済活動が回復するものと考えております。しかし、国内外ともに人の往来や経済活動・社会活動が平常化するには至っておらず、また、米中貿易摩擦の影響も長期化していることから、回復のペースは緩やかなものとなる見通しです。

このような市場見通しの中、当社の受注環境も当面は厳しい状況が続くものと予想しており、下半期の受注は上半期とほぼ同水準に留まるものと想定しております。下掲のグラフに過去の受注状況を示しておりますが、新

型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、受注の落ち込みは過年度の景気循環の範囲内に留まる見通しです。

売上高は、厳しい受注状況を受けて下半期は上半期とほぼ同水準で推移するものと考えております。

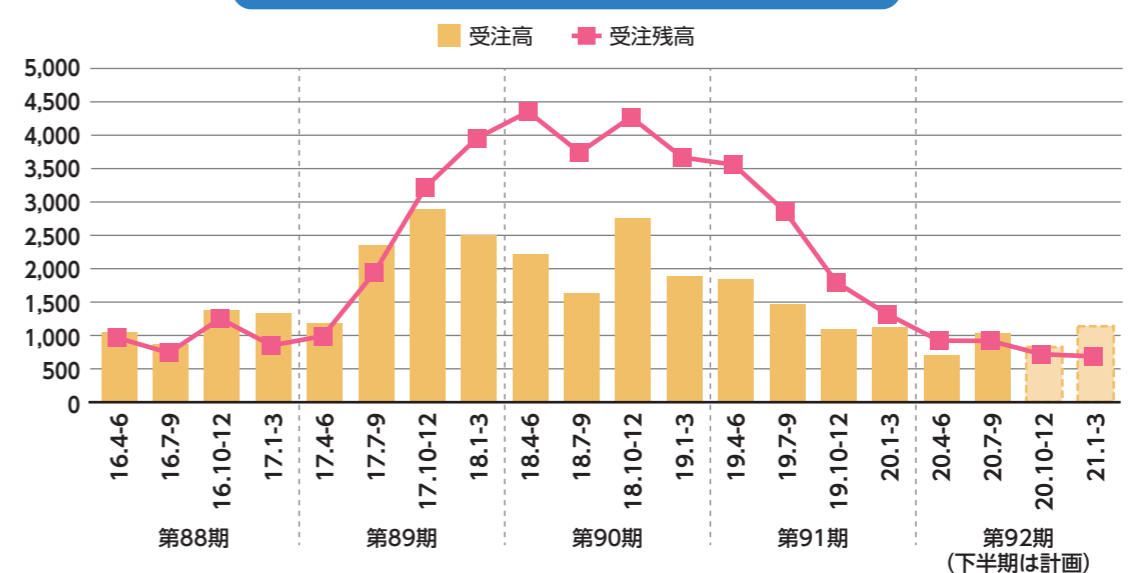
利益面では、国内外の出張緩和による費用増、渡航制限により先送りされてきた費用の発生、リモート対応に対する積極的な費用投下などの要因により、下半期の費用負担が増加するため、利益は上半期より減少する見通しです。

これらの状況をふまえ、期初に発表した通期業績見通しを次のように修正いたしました。

まず、第92期通期の売上高は4,291百万円、経常利益は256百万円、当期純利益は177百万円となる見通しです。

また、配当金につきましては、期初の段階で第92期中間配当金を無配としておりましたが、1株につき5円とさせていただき、10円のまま据え置く第92期期末配当金と合わせ、年間では1株につき15円を予定しております。

受注高・受注残高の推移 (単位:百万円)



トピックス

JIMTOF 2020 Online に出展いたしました

「JIMTOF(日本国際工作機械見本市)」は、隔年で開催される日本最大の工作機械見本市であり、「世界三大工作機械見本市」の一つと称されております。これまでは大規模な会場に集客し開催されておりましたが、今回は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、インターネットを活用したOnline(オンライン)形態での開催となりました。

【会期】 2020年11月16日(月)～27日(金)

なお、会期終了後も12月11日(金)まで視聴可能です。ご視聴の際は「JIMTOF2020オンライン」でWeb検索してください。

- 【出展機種】
- ・全自動5軸複合インサート研削盤 APX-F50
 - ・全自動溝入れインサート研削盤 GIG-202
 - ・全自動プロファイル研削盤 iPG-X
 - ・インテリジェントジグ研削盤 UJG-35i

当面、国内外の各種展示会もオンライン開催となる可能性が高いため、今回のノウハウを生かし新しい営業活動の形として積極的に取り組んでまいります。



<JIMTOF2020オンラインの当社出展サイト>

※ 記載金額は、表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

※ 本株主通信では「親会社株主に帰属する当期純利益」および「親会社株主に帰属する四半期純利益」を「当期純利益」として表示しております。